

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

平成29年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第9回講義

環境政策と科学技術

環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室長
行木 美弥 氏

行木先生からのメッセージ

科学技術は私たちの生活を支え、より便利に快適にしてくれるものです。一方、歴史を振り返ると、技術の導入の際に十分配慮をしなかった結果、環境汚染を起こしてしまったこともありました。また逆に技術によって、環境問題が改善したこともありました。

第9回では、科学技術を切り口に環境政策についてお話します。過去経験した公害を振り返り、それから将来に目を向け、導入の進む再生可能エネルギーを巡る最近の動きについても紹介したいと思います。

日時:

2017年6月16日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

行木美弥:

2015年、東大新領域創成学科修了(環境学博士)。

2002年、MIT. 科学修士修了(Technology and Policy)

1995年、北大大学院工学研究科衛生工学専攻修了
(工学修士)

1995年環境省(当時環境庁)に入省。

以降、水・大気環境保全、廃棄物・リサイクル管理、化学物質管理、気候変動対策等の環境行政に関わる。その他、外務省OECD代表部書記官(2006-2009)、慶應義塾大学環境情報学部准教授(2012-2015)を歴任。

2015年より現職。

担当:工学系教育研究センター 小林 幸徳教授

内線:7163 Mail: ceed-int@eng.hokudai.ac.jp